

記念講演会

「超絶技巧の未来」

本展監修者の山下裕二氏が出品現代作家を中心に、
本展の見どころを解説します。

2023年5月13日(土) 13:30～15:00

[講師] 山下裕二 (明治学院大学教授・本展監修者)
[会場] 本館3階レセプションルーム
[定員] 30名 (先着順)
[申込] 5月1日(月)より申込フォームにて受付
[参加費] 無料 (要観覧券)

作家講演会

「誰にもできない」木彫作品を制作する大竹亮峯氏が、
その制作過程やアイデアについて語ります。

2023年5月27日(土) 13:30～15:00

[講師] 大竹亮峯 (木彫作家・本展出品作家)
[会場] 本館3階レセプションルーム
[定員] 30名 (先着順)
[申込] 5月8日(月)より申込フォームにて受付
[参加費] 無料 (要観覧券)

ワークショップ

幻想的な世界を刺繍作品で表現する蝸牛あや氏と、
小さな作品をつくります。

2023年6月4日(日) 13:30～16:00

[講師] 蝸牛あや (刺繍作家・本展出品作家)
[会場] 本館3階レセプションルーム
[定員] 10名 (先着順)
[申込] 5月15日(月)より申込フォームにて受付
[参加費] 1,000円 (税込)

In the Genes, Taking Marvelous Meiji Craftsmanship into the Future



注目!

展示会場で撮影した作品写真に
「#超絶技巧展 長野」をつけてSNSにUPし、
その画面を2F特設ショップでご提示いただくと
オリジナルグッズをプレゼント! ※無くなり次第終了

◎ 観覧料	前売券 (一般のみ)	当日券	団体 (20名以上)	NAMコレクション2023および 東山魁夷館との共通料金
一般	1,200円	1,400円	1,300円	1,900円
大学生	—	1,200円	1,100円	1,500円
高校生以下または18歳未満	—	無料	無料	—

※前売券販売: 2月22日(水)～4月21日(金)まで

[プレイガイド] 長野県立美術館、ローソンチケット、セブンチケット、チケットぴあ、ホクト文化ホール、キッセイ文化ホール、長野県伊那文化会館、長野県庁内生協売店

※割引の併用はできません ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添い1名は無料

東山魁夷館〈第I期〉4月13日(木)～6月20日(火)	
◎同時開催 NAMコレクション2023〈第I期〉3月16日(木)～5月16日(火) 〈第II期〉5月18日(木)～7月25日(火)	
〈新収蔵品展〉4月22日(土)～6月18日(日)	
アートラボ 2022〈第IV期〉 ひらくツール 2月4日(土)～5月9日(火) アートラボ 2023〈第I期〉 中ハシクシゲ 5月13日(土)～8月1日(火)	



※長野県立美術館には一般来館者のための駐車場はございません。併設の東山魁夷館北側の駐車場は、大型バス、障がいのある方など信州パーキングパーミット制度にて指定の専用駐車場です。公共交通機関のご利用を推奨いたします。

■公共交通機関

◎ JR長野駅善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス11系統 善光寺経由宇木行、16系統 善光寺・若槻団地経由若槻東条行、17系統善光寺・西条経由若槻東条行で「善光寺北」下車(所要時間約15分)。バス進行方向徒歩約3分。

◎ JR長野駅善光寺口バス乗り場①及び⑦の善光寺経由のバス、もしくは善光寺行き「びんずる号」で「善光寺大門」下車(所要時間約13分)、表参道を善光寺本堂方向に歩き、本堂を右方向、城山公園へ徒歩約10分。

◎ 長野県鉄「善光寺下駅」下車、城山公園へ徒歩約15分。

NAM 長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

ハローダイヤル
TEL. 050-5542-8600
〒380-0801 長野県長野市箱清水1-4-4
(善光寺東隣 城山公園内)

<https://nagano.art.museum/>



新型コロナウイルス感染症等、諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。最新情報は当館ホームページをご覧ください。

In the Genes, Taking Marvelous Meiji Craftsmanship into the Future

鹿角を使った月下美人の花弁。
花器に水を注ぐと
ゆっくり花が開く
驚きの仕掛け。

【木彫】大竹亮峯 (1989年生まれ)
《月光》2020年

1, 2, 3, 4 ...
漆に数字?
貝を嵌め込んでいるのです。

【漆工】池田晃将 (1987年生まれ)
《百千金字塔香台》2022年



驚きの!

2023
4/22 Sat
➤ **6/18 Sun**

[会場] 長野県立美術館 展示室2・3

[開館時間] 9:00～17:00 (展示室入室は16:30まで)

[休館日] 水曜日(ただし、5月3日[水]は開館)

[主催] 長野県、長野県立美術館、SBC 信越放送

[共催] 長野県教育委員会、信濃毎日新聞社

[協力] 清水三年坂美術館 【監修】山下裕二 (明治学院大学教授)

[後援] 長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、

長野県芸術文化協会、(公財) 八十二文化財団、

(公財) ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本 長野支社

[企画協力] 広瀬麻美 (浅野研究所)

NAM 長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum



上の鎖から下の足先まで
一本の木から
彫り出された木彫!

【木彫】前原冬樹 (1962年生まれ)
《「一刻」スズメに茶碗》(部分) 2022年

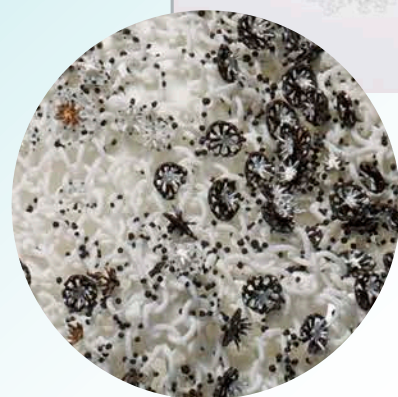


超絶技巧を駆使した明治工芸再評価の機運が、近年益々高まっています。本展では、近代の名工の作品に加え、そのDNAを受け継ぐ、技術とセンスを合わせ持つ現代作家の新作を中心に紹介します。陶芸、木彫、金工、切り絵、ガラス、ペーパークラフトなど、様々な技法から生み出された、未来へとつながる超絶技巧の世界に迫ります。

【木彫】

福田亨（1994年生まれ）
《吸水》（部分）
黒檀、黒柿、柿、真弓、朴、苦木、柳、ペロパローサ
2022年
水滴は板全体を彫り下げて浮き彫りにし、研磨してツヤを出しています。

蝶は「立体木象嵌」。



曲げる、捻る、
たたむなど
自由自在！

【陶磁】

稲崎栄利子（1972年生まれ）
《Euphoria》
陶土、磁土、金彩、雲母銀
2023年
土のリングが織りなす
布のように軽くなやかな磁器。



【有線七宝】

並河靖之（1845-1927）
《草花図花瓶》
清水三年坂美術館蔵

細やかな装飾ゆえ比較的小品が多い
並河靖之の七宝。本作は30センチを
超える大作で類例は僅か。



【牙彫】

安藤緑山（1885-1959）
《松竹梅》 清水三年坂美術館蔵

すべて象牙から彫り出し彩色された、奇跡
の牙彫師・安藤緑山による松竹梅の置物。



【陶磁】

成瀬誠志（1845-1923）
《上絵金彩昆虫唐子図碗》
岐阜県現代陶芸美術館蔵
唐子と昆虫が交互に描かれる。虫行列
の絵付けを覆うように白盛りの網目が施さ
れ、籠の中に入れられているような演出。



【漆工】

彦十蒔絵 若宮隆志（1964年生まれ）
《「ねじが外れている」
モンキー、工具箱、ねじ》
モンキー：麻布、天然漆、銀粉
工具箱・ネジ：ヒバ材、漆、銀粉
2023年
金属製品を漆工でまったく同じ質感を再現した
「見立漆器」。その思いがけない軽さに驚く。



【金工】

長谷川清吉（1982年生まれ）
《銀製 梱包材》
銀 2023年
板状の銀を雄型と雌型で挟みながら、
金槌で打ち出し凸部をつくったプチプチ。



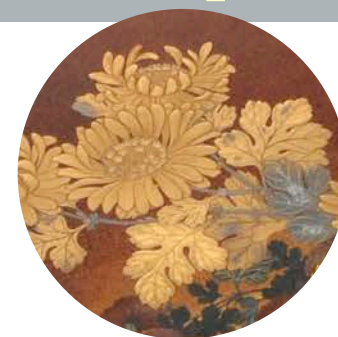
【金工】

本郷真也（1984年生まれ）
《円相》
鉄、金 2023年
鉄板を熱し、ひたすら
叩く鍛金技法でできた
一対の巨大な龍。

体全体が動く
自在作品。



In the Genes, Taking Marvelous Meiji Craftsmanship into the Future



白山松哉（1853-1923）
《四君子蒔絵文台・
料紙箱・硯箱》
清水三年坂美術館蔵

明治から大正時代を代表する
超絶技巧系の蒔絵師である
白山松哉の作。

【漆工】

